

令和5年度

決 算 書

令和6年3月31日

社会福祉法人 福岡県共同募金会

# 目 次

事業の概要	1
1 法人の運営	2
2 市区町村支会の支援	2
3 広報活動の強化	2
4 募金推進への取組	4
5 募金実績及び募金活動の取組	5
6 適正かつ効果的な配分の実施	7
7 福岡県社会福祉協議会との連携強化	9
8 顕彰の実施	9
9 災害復興に対する支援	10
10 受配者指定寄付金の普及と活用促進	12
11 赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援	12
12 公益補助事業等への協力	12
事業報告附属明細書	14

## 事業の概要

少子高齢・人口減少の進展、人と人とのつながりの希薄化、支え合いの仕組みの脆弱化など、地域社会が大きく変化し続ける中、長期化した新型コロナウイルス（以下、コロナという。）感染症は5類へ移行したがその影響は大きく、共同募金運動を取り巻く環境は、依然、厳しい状況が続いた。

このような状況のもと、本会では、市区町村支会職員を対象とする研修会の開催や支会職員の全国会議への参加助成など、関係機関・団体等と連携して共同募金運動の展開や対応等について、知識の向上を図った。

広報啓発活動については、例年同様、福岡ソフトバンクホークスの協力のもと作成している独自ポスター・チラシの配布、ホームページや広報誌のほか、新たにSNSを活用、イベント時のマスコミへの取材依頼、児童・生徒に対する福祉教育の一環として取り組んでいる赤い羽根キャッチフレーズ募集など、積極的に取り組んだ。

また、各支会においても、役職員が一体となり、コロナ5類への移行を受け、訪問による募金活動や街頭募金、イベント募金等を再開するなど募金実績確保に向け様々な取組を行った。

その結果、前年度は、県共募に対し1千万円の大口寄付があるなど、全体としては増額となったが、今年度は、支会実績は微減であったが、大口寄付がなく県共募の実績が大幅に減ったことにより、昨年度の実績から3千7百万円余り下回るという結果となった。

県民の皆様から寄せられた一般募金及び歳末たすけあい募金については、社会福祉法第115条に基づく配分委員会で申請施設・団体の調査及び審査を実施のうえ、公正かつ有効に配分を行った。

また、令和5年7月福岡豪雨災害に際しては、災害義援金の募集や4市1町1村に設置された災害ボランティアセンター運営費として災害等準備金の一部を拠出し、被災地の復興支援に取り組むとともに、平時において災害に備えることを目的に、1昨年度改正した災害配分等引当積立金規程に基づき災害時に広域で活用するための資機材等の配分を行った。

さらに、複合的な課題を抱える生活困窮者に対し、自立に向けた具体的な支援が必要となるため、社協が取り組む生活困窮者支援のためのアウトリーチ用車両購入に配分を行った。

本年度の具体的な取組は、次のとおりである。

## 1 法人の運営

### (1) 評議員会の開催(2回)

第218回評議員会 (定時評議員会)	令和5年	6月29日	春日市
第219回評議員会	令和6年	3月25日	春日市

### (2) 理事会の開催(4回)

第358回理事会	令和5年	4月1日	(決議の省略)
第359回理事会	令和5年	6月7日	春日市
第360回理事会	令和5年	6月29日	(決議の省略)
第361回理事会	令和6年	3月12日	春日市

### (3) 監事会の開催(1回)

監事会	令和5年	5月25日	春日市
-----	------	-------	-----

### (4) 評議員選任・解任委員会の開催(2回)

評議員選任・解任委員会	令和5年	6月16日	(決議の省略)
評議員選任・解任委員会	令和6年	3月15日	(決議の省略)

## 2 市区町村支会の支援

### (1) 会議等の開催

新任職員研修会	令和5年	4月28日	春日市
---------	------	-------	-----

### (2) 個別支援の実施

市区町村支会への本会職員による個別訪問(9支会)  
全国赤い羽根ミーティングへの支会参加職員への助成(6支会)

## 3 広報活動の強化

### (1) 赤い羽根データベースシステム「はねっと」による情報公開の推進

中央共同募金会ホームページ上に開設されているデータベースシステムを活用し、配分使途等の情報を公開した。

### (2) 福岡県共同募金会ホームページ等による情報公開の推進

本会ホームページやInstagramを活用し、共同募金運動等の情報を公開した。

### (3) 赤い羽根応援大使等による広報啓発

福岡ソフトバンクホークスの全面的な協力のもと、笠谷 俊介選手、リチャード選手に赤い羽根応援大使（以下、応援大使）に就任いただき、ポスター・チラシ・パンフレットへの写真掲載等、共同募金運動のPRに協力いただいた。

また、平成25年度から採用している球団マスコット（ハリーホーク）と赤い羽根がコラボレーションしたバッジを本年度も作製し、広報活動を強化した。

さらに、共同募金運動啓発のため、福岡ソフトバンクホークスの大津 亮介選手出席のもと、本年度のポスター等の一般公開及び募金推進キャッチフレーズの記者発表会を実施した。

#### ア 記者発表会

期 日 令和5年 8月31日

場 所 福岡ペイペイドーム内 プレスカンファレンスルーム

### (4) 広報活動の推進

#### ア 広報啓発資材の活用

##### (ア) 全戸配布チラシの作成・配布

前年度の募金配分結果及び今年度の募金への協力依頼を掲載。

827,800部

なお、62ヶ所の支会では、本チラシの裏面を活用し、地元の情報を織り込んだ市区町村独自チラシを作成した。

##### (イ) 街頭募金用チラシの作成・配布

18,400部（20支会）

##### (ウ) 共同募金パンフレットの作成・配布

18,810部（44支会）

##### (エ) 共同募金リーフレットの作成・配布

17,850部（29支会）

##### (オ) 共同募金ボランティアハンドブックの作成・配布

27,010部（48支会）

##### (カ) 募金運動啓発ポスターの作成・掲示

県内の学校、社会福祉施設、社会福祉協議会、銀行等に掲示

16,920枚

#### イ 封筒の裏面活用

本会封筒の裏面を活用し、配分使途等の情報を広く周知した。

14,500部

#### ウ 福岡県社会福祉協議会広報誌への広報掲載

県社協広報誌「ふくおかのふくし」（20,000部発行、4,419カ所に年4回配布）に共同募金の取組に関する記事を掲載し、県民の方々へ理解と協力を求めた。

## エ マスコミによる広報推進

共同募金運動に係る各種イベント開催や取組など、資料提供や取材依頼を行うことにより、新聞・テレビ・ラジオ等の協力による広報活動を展開した。

## (5) 福祉教育の推進

共同募金運動や社会福祉全般についての県民の理解促進や福祉教育の一環として、福岡県、北九州市、福岡市の各教育委員会の後援のもと、児童・生徒に対し、募金運動推進キャッチフレーズを公募した。

共同募金推進委員会による選考を経て、最優秀作を本年度の運動推進のキャッチフレーズとして活用した。

### ア 募集期間

令和5年4月21日から 令和5年6月2日まで

### イ 応募総数

5,300点(小学校12校・中学校16校・高校12校・特別支援学校4校の計44校)

### ウ 入選作品及び特別賞

(ア) 最優秀作 「赤い羽根 心がつながる 支えあい・・・赤い羽根共同募金」

近藤 咲希さん(糸島市立志摩中学校3年/糸島市)

(イ) 優秀作 10作品

(ウ) 特別賞 24校

### エ 表彰

最優秀作受賞者に対して、福岡県社会福祉大会において表彰を行った。

また、優秀作受賞者及び特別賞受賞校には、該当支会代表者とともに各学校を訪問し、表彰状の授与を行った。

## 4 募金推進への取組

### (1) 共同募金推進委員会の開催

第1回 令和5年 7月 3日 (春日市)

第2回 令和6年 3月 6日 ( 〃 )

### (2) 市区町村支会モデル指定事業の実施

共同募金運動の啓発や実績向上を図るため、上毛町1支会をモデル指定し、地域の実情を踏まえ、関係機関・団体等との協働による新たな取組を行った。

#### ・上毛町 募金協力者(寄付者)の拡大

町内で唯一募金運動未実施の小学校を対象に、事前学習で共同募金を学び、募金が幸せにつながる取組であると知った児童が、自分の“幸せ”を地域の伝統文化である八女提灯に描くことで、カタチとなった幸せ(提灯)が、町をよくする共同募金の象徴として、運動期間を、明るく照らす温かい灯りとして地域に披露された。児童の発信する幸せの灯りが、多くの町民の目に触れ、共同募金への理解促進や広報啓発につながる、素敵な取組となった。

### (3) 赤い羽根自販機の設置促進

売上の一部等が募金される自動販売機「赤い羽根自販機」の設置を促進し、本年度は8市町に10台の赤い羽根自販機が新たに設置された。

※赤い羽根自販機設置状況 48市町 413台 (令和6年 3月31日現在)

### (4) 募金百貨店プロジェクトの普及・啓発

売上の一部が募金される寄付つき商品「募金百貨店プロジェクト」の普及・啓発に努め、各支会・企業等と共同して開発等を行った結果、本年度は新たに3社の寄付つき商品が誕生した。

※協力企業・事業所数 24市町 130ヶ所 (令和6年 3月31日現在)

## 5 募金実績及び募金活動の取組

### (1) 目標額及び実績額

#### ア 一般募金

目標額は、各支会の前年度(令和4年度)実績額を基本とし一部支会が増額をした。

(ア) 目標額 578,326,000円

(イ) 実績額 573,146,521円

#### イ 歳末たすけあい募金

目標額は、県及び市区町村社会福祉協議会の申請額をもとに募金計画を作成し、関係支会・機関一体となって運動を展開した。

(ア) 目標額 90,211,425円

(イ) 実績額 85,494,126円

a NHK歳末たすけあい募金(県域) 11,007,917円

<協力企業・団体>

NHK福岡放送局・NHK北九州放送局・福岡銀行・西日本シティ銀行・筑邦銀行・福岡中央銀行・北九州銀行・福岡県信用農業協同組合連合会・福岡県信用漁業協同組合連合会・西日本新聞民生事業団

b 地域歳末たすけあい募金 74,486,209円

※地域歳末たすけあい運動実施支会 33支会

#### ウ 地域課題解決型募金(テーマ型募金)

目標額は、申請団体の申請額とした。

(ア) 目標額 100,000円

(イ) 実績額 81,929円

エ 実績額合計 658,722,576円

※参考 令和4年度募金実績 696,272,322円

オ 募金方法別実績

(単位 円)

募金方法	一般募金		歳末たすけあい募金		テーマ型募金	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
戸別募金	409,988,822	71.53%	67,604,780	79.08%		
街頭募金	4,422,382	0.77%	1,300,706	1.52%		
法人募金	76,118,021	13.28%	2,104,218	2.46%		
学校募金	4,024,746	0.70%	200,817	0.24%		
職域募金	11,239,753	1.96%	2,183,289	2.55%		
イベント募金	3,067,293	0.54%	223,962	0.26%		
バッジ募金	1,900,345	0.33%				
クオカード募金	12,595,300	2.20%				
図書カード募金	4,774,730	0.83%				
ボールペン募金	4,653,272	0.81%				
個人募金	16,017,463	2.80%	9,945,996	11.63%		
自販機募金	10,895,294	1.90%				
寄付つき商品	496,414	0.09%				
その他	12,952,686	2.26%	1,930,358	2.26%	81,929	100.00%
合計	573,146,521	100.00%	85,494,126	100.00%	81,929	100.00%

(2) 一般募金の取組

ア 街頭募金・啓発等

(ア) 本 会

a 初日街頭募金

西鉄福岡（天神）駅周辺で、初日街頭募金を行った。今年度も昨年度に引き続き福岡舞鶴高等学校の生徒達（11名）にボランティアとして参加いただき、総勢22名で音声データを活用し赤い羽根共同募金運動への募金協力を呼びかけた。

併せて、当日は、にしてつグループの協力のもと、西鉄福岡（天神）駅をはじめ、西鉄電車主要各駅の駅員、西鉄グランドホテル・ソラリア西鉄ホテルの接客スタッフ、にしてつストア各店のスタッフの皆さんが各職場で「赤い羽根」を胸に着け、共同募金運動の開始をアピールしていただいた。

(イ) 支 会

52支会で、延べ244回の街頭募金を行い、協力を呼びかけた。

イ 募金資材の活用

(ア) 着ぐるみ（愛ちゃんと希望くん）の貸出し

17支会の催事に合わせ、延べ22回の着ぐるみ貸出しを行い、広報啓発に活用した。

### (3) 歳末たすけあい募金の取組

経済的困窮や社会的孤立など生活課題を抱えている方々に温かい年末年始を迎えていただけるよう、恒例の歳末たすけあい募金を県下一斉に展開した。

#### ア 街頭募金・啓発等

##### (ア) 本 会

##### a 初日街頭募金

歳末たすけあい運動の開始を県民に周知することを目的に、福岡市内（福岡市支会）で行う初日街頭募金活動への協力を行った。

(a) 期 日 令和5年12月 1日

(b) 場 所 西鉄福岡（天神）駅周辺（福岡市中央区）

##### b NHK歳末たすけあい開始

福岡・北九州放送局に募金受付の窓口を設置して協力を呼びかけた。

##### (a) 募金受付窓口の設置

・NHK福岡・NHK北九州放送局 令和5年12月 1日から25日まで

##### (イ) 支 会

13支会において歳末たすけあい募金の街頭募金を行った。

### (4) 地域課題解決型募金（テーマ型募金）の取組

「福岡県内（広域）における地域や社会課題解決に向けて取り組む事業」を対象事業とし、本会で、1月から3月にかけて募金活動を展開した。

#### ア 申請団体

NPO法人 つなぎ愛こころ食堂

[テ ー マ]

子ども食堂（みんなと食べるとおいしいよ）事業

## 6 適正かつ効果的な配分の実施

### (1) 配分委員会の開催

第1回 令和5年 5月30日 (春日市)

第2回 令和6年 2月 2日 ( 〃 )

第3回 令和6年 3月 1日 ( 〃 )

## (2) 配分調査

配分委員会委員による配分調査の実施

ア 件数 22件

イ 期間等 令和6年2月6日から2月22日までの間に7人の配分委員と事務局職員が配分調査を実施した。

## (3) 配 分

厳正な審査の結果として、令和6年3月25日、申請のあった社会福祉施設・団体・社会福祉協議会等への本年度の配分を次のとおり決定した。

なお、B枠及び地域歳末たすけあい募金については、支会の配分計画に基づき配分し、NHK歳末たすけあい募金については、歳末事業費、活動支援金、見舞金等として配分した。

ア 一般募金

(ア) A枠（県域の施設・団体）配分

・配分件数 22件  
・配分総額 32,010,000円

(イ) B枠（地域）配分

・配分件数 77件  
・配分総額 453,607,300円

イ 歳末たすけあい募金

(ア) NHK歳末たすけあい募金配分（県域）

・配分件数 408件  
・配分総額 10,971,000円

(イ) 地域歳末たすけあい募金配分

a 地域福祉・在宅福祉サービス事業

・配分件数 5,545件  
・配分総額 66,618,905円

b 見舞金贈呈事業

・配分件数 1,174件  
・配分総額 7,838,544円

### 令和5年度共同募金配分総括表

(単位 円)

配分枠		配分額
一般募金	A 枠	32,010,000
	B 枠	453,607,300
歳末たすけあい募金		85,428,449
合 計		571,045,749

※令和4年度地域課題解決型募金（テーマ型募金）配分

配分 1件 189,942円（令和5年 6月29日配分決定）

※令和5年度A枠特別配分

配分 17件 21,335,220円(令和5年6月29日配分決定)

#### (4) 公 告

社会福祉法第120条(結果の公告)に基づき、令和4年度(令和5年度事業)募金実績、配分内容等を掲載した機関誌「赤い羽根共同募金」を4,300部作成し、関係機関・団体に配布した。

また、本会ホームページに機関誌「赤い羽根共同募金」を掲載し、公開した。

### 7 福岡県社会福祉協議会(以下、県社協)との連携強化

#### 県社協との共催による福岡県社会福祉大会の開催

福岡県社会福祉大会 令和5年10月23日 春日市 748名

### 8 顕彰の実施

#### (1) 福岡県共同募金会会長表彰・感謝

ア 顕彰選考委員会の開催

令和5年8月3日 春日市

イ 福岡県社会福祉大会表彰式において次のとおり顕彰を行った。

(ア) 会長表彰 27名・7団体

(イ) 優秀地区(支会)表彰 11支会

(ウ) 会長感謝 54名・5団体

ウ 篤志寄付者に対する感謝を次のとおり行った。

(ア) 会長感謝 22名・107団体

#### (2) 中央共同募金会会長表彰・感謝

ア 中央共同募金会顕彰規程に基づく奉仕功労者表彰、従事功労者表彰及び篤志寄付者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

(ア) 会長表彰 5名

(イ) 会長感謝(感謝楯) 1名・3団体

(ウ) 会長感謝(感謝状) 1名・8団体

#### (3) 厚生労働大臣表彰・感謝

ア 厚生労働大臣表彰実施要領及び感謝状贈呈要綱に基づく共同募金運動奉仕者・奉仕団体表彰及び多額の寄付者への感謝の推薦を行い、次のとおり決定した。

(ア) 大臣表彰 該当なし

(イ) 感謝状 1名・1団体

## 9 災害復興に対する支援

### (1) 災害等準備金の運用

災害等準備金は、社会福祉法の規定に基づく全国の申合せにより常に3年間分を積み立てており、令和5年度は、令和2年度から令和4年度の積立額を準備金とした。

ア 災害等準備金の取り崩し

3年間を経過した積立金については取り崩しを行い、令和5年度に再配分した。

令和5年度取崩額 21,860,146円(令和元年度積立分)

イ 災害等準備金の拠出

令和5年7月福岡県豪雨災害の被災地における災害ボランティアセンター支援のため、令和2年度積立額と令和3年度積立額の一部を拠出した。

ウ 災害等準備金の積立て

災害支援制度運営要綱に基づき、令和5年度募金総額の3%を災害等準備金として積み立てた。

(ア) 令和5年度積立額 19,761,677円

(イ) 災害等準備金 59,765,108円(令和6年 3月31日現在)

### (2) 災害義援金募集

ア 令和5年7月福岡県豪雨災害義援金の募集

募集期間 令和5年 7月18日から令和6年 3月29日まで

実績 11,700,402円

イ 他都道府県で募集が開始された災害義援金について、各市区町村支会並びに福岡県庁、福岡県社会福祉協議会に対し募集の協力依頼を行うとともに、本会ホームページに募集要綱を掲載し、周知に努めた。

- ・ 令和5年5月能登地方地震災害義援金(石川県)  
令和5年 5月10日から令和5年 9月29日まで
- ・ 令和5年台風第2号災害静岡県義援金  
令和5年 6月 8日から令和5年 9月 8日まで
- ・ 2023年台風第2号による大雨災害義援金(茨城県)  
令和5年 6月 8日から令和5年 9月30日まで
- ・ 令和5年台風2号災害義援金(中央共募)  
令和5年 6月12日から令和5年 9月30日まで
- ・ 令和5年度台風第2号等大雨災害埼玉県義援金  
令和5年 6月19日から令和5年 9月30日まで
- ・ 和歌山県令和5年台風第2号災害義援金  
令和5年 6月21日から令和5年 9月29日まで
- ・ 山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金  
令和5年 7月12日から令和5年12月29日まで
- ・ 令和5年7月九州北部豪雨災害佐賀県義援金

- 令和5年 7月18日から令和5年 9月19日まで
- 令和5年6・7月大雨災害義援金（中央共募）
  - 令和5年 7月19日から令和6年 3月29日まで
- 秋田県大雨災害義援金
  - 令和5年 7月21日から令和5年10月31日まで
- 令和5年7月島根県大雨災害義援金
  - 令和5年 7月20日から令和5年 8月31日まで
- 富山県令和5年6・7月豪雨災害義援金
  - 令和5年 7月25日から令和5年 8月31日まで
- 大分県共募令和5年7月大分県豪雨災害義援金
  - 令和5年 7月25日から令和5年 9月29日まで
- 令和5年7月大雨災害義援金（石川県）
  - 令和5年 8月10日から令和6年 3月29日まで
- 沖縄県令和5年台風第6号災害義援金
  - 令和5年 9月 5日から令和5年11月30日まで
- 茨城県2023年台風第13号に係る災害義援金
  - 令和5年 9月13日から令和5年12月31日まで
- 令和5年台風第13号の接近に伴う大雨千葉県災害義援金
  - 令和5年 9月15日から令和5年12月28日まで
- 令和5年福島県台風第13号災害義援金
  - 令和5年 9月15日から令和5年12月31日まで
- 令和5年台風13号災害義援金（中央共募）
  - 令和5年 9月20日から令和5年12月31日まで
- 令和6年能登半島地震災害義援金（石川県）
  - 令和6年 1月 4日から令和6年12月27日まで
- 令和6年能登半島地震災害義援金(富山県被災者支援分)
  - 令和6年 1月 5日から令和6年12月27日まで
- 令和6年能登半島地震災害義援金（中央共募）
  - 令和6年 1月 5日から令和6年12月27日まで
- 令和6年能登半島地震災害義援金(新潟県被災者支援分)
  - 令和6年 1月 9日から令和6年 6月28日まで
- 令和6年能登半島地震災害義援金(福井県被災者支援分)
  - 令和6年 1月16日から令和6年12月27日まで

### (3) 災害配分引当積立金の活用

「災害配分等引当積立金規程」に基づき、積立金からの配分を行った。

社協	事業名	申請額	配分額
大牟田市	災害ボランティアセンター 資機材・倉庫設置事業	3,000,000円	3,000,000円
宗像市	〃	3,000,000円	3,000,000円
糸田町	〃	2,996,930円	2,996,930円
大任町	〃	2,951,060円	2,951,060円
田川市	〃	2,997,870円	2,997,870円
添田町	〃	2,951,186円	2,951,186円
福岡県	令和5年7月7日からの大雨災害におけるボランティアバス運行事業	600,275円	600,275円

### 10 受配者指定寄付金の普及と活用促進

中央共同募金会の審査結果に基づき決定した寄付金を受け入れ、指定された事業に配分した。

ア 寄付額 2件 38,317,567円

イ 配分額 2件 37,361,967円

### 11 赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援

生活福祉資金のコロナ特例貸付けの償還が始まるなか、借受人の中には償還が困難な人や、償還ができたとしても引き続き生活が厳しい人も多く、社協等では継続的な生活支援を含めた相談対応を行っている。こうした相談対応を行うなかで、アウトリーチやつながるきっかけづくりのツールとして、相談窓口への来所時に緊急的に配布するための食料品や日用品等の整備が必要であるとの声を受け、本会では中央共同募金会とともに「生活困窮者への緊急支援活動助成」として様々な福祉課題解決に取り組む団体への助成を行った。

・件数 6件

・助成額 2,335,008円

### 12 公益補助事業等への協力

#### (1) 令和5年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業

本会が推薦を行った施設整備費助成事業について、下記のとおり決定された。

・件数 4件

・助成額 6,000,000円

## **(2) 令和5年度車両競技公益資金記念財団助成事業**

本会が推薦を行った助成事業について、下記のとおり決定された。

ア 高齢者、障害者の支援を目的とするボランティア活動に対する助成事業

・件数 5件

・助成額 1,230,800円

## **(3) 「24時間テレビ」福祉車両贈呈事業**

日本テレビやFBS福岡放送をはじめ、チャリティー加盟各社（全国31の放送事業者）が行う「24時間テレビ 福祉車両寄贈事業」について、市町村社協を通じ各施設・団体・個人への周知等に協力した。

## 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「社会福祉法施行規則」第2条の25第3項に規定する附属明細書（事業報告の内容を補足する重要な事項）が存在しないので作成しない。